



三本珈琲株式会社 秋田支店



**食品ロス削減と学校給食支援で「ちょっとした幸せ」を世界中のみんなに届ける！
～秋田から地域へ→地域から地球へ！～つなげて広げる国際貢献**

取組の目的・背景

■秋田県内での災害発生の増加

近年、豪雨や地震など自然災害が多発し被害も甚大化している。秋田県も例外ではなく、2023年7月に続き2024年7月にも記録的な大雨により、各地で被害が発生している。

■自社の食品ロス削減の推進

コーヒー製造時に発生する食品ロスを削減することは食品事業者の使命であり課題である。

■コーヒーでできる国際貢献

コーヒー生豆産地のほとんどが途上国である現状から、全社を挙げて推進している「SUNSHINE COFFEE PROJECT」を県内でも普及したい。

取組の内容

私たちは秋田県内への貢献とそれを土台とした国際貢献を両輪として活動を行っており、一人ひとりの少しの思いやりが世界中に境目なく、それぞれの「ちょっとした幸せ」を届けることに繋がることを伝え続けている。それが誰一人取り残すことのない社会の実現につながるものと考えている。

①自社食品ロスを活用した被災地支援活動

コーヒー製造時に発生する機械残、規格外品、商慣習により販売できなくなった商品などを活用して寄付用コーヒーを製造し、県内のボランティアセンター等に贈っている。

コーヒーは世界で一番飲まれている飲料であり、被害に遭った方だけでなくボランティアセンターで活動する方々もコーヒーを飲み、忙しい中でほっと一息することで、精神的なくつろぎを与えることができる。

自社の食品ロスを活用しているため、この活動は製造活動が続ける限り可能であり、食品ロス削減による環境負荷低減に加え、地域貢献、地域活性化に寄与することができる。

②地域連携で国際貢献に手軽参加、熱烈支援！「SUNSHINE COFFEE PROJECT」

「SUNSHINE COFFEE PROJECT」は三本珈琲のレッドカップキャンペーン対象商品を取り扱う業務店により結成されるもので、対象商品の売上の一部は国連WFPを通じた途上国の学校給食支援に寄付される。学校給食支援には、単なる栄養の支援以外に学校に通えない子どもを減らす効果や、その結果、子どもが正しい知識を身に着けて大人になり、将来的に国や地域が正しく発展していくことを支援することにつながる。

多くの業務店で結成するプロジェクト形式によりレッドカップキャンペーンを支援することは三本珈琲が初めて行ったものであり、ホテルやカフェなど多くの人が集まる場所で商品が使用されることで、売上による寄付という効果の他に認知度の向上が見込まれる。

全社で行うこの取り組みは県内でも着実に進んでおり、三本珈琲のコーヒーをきっかけにレッドカップキャンペーンに興味を持った方を増やし、レッドカップマークの認知度向上に寄与している。コーヒーの販売とともにレッドカップマークの付いたメニューや啓発用POPを掲示してもらうことで、多くの人々の目にレッドカップキャンペーン及びレッドカップマークが触れることとなる。

秋田に居ながらにして途上国の子どもたちに学校給食を届け、子供たちの未来を明るく照らすこの活動に一人でも多くの賛同者が得られるように日々活動している。

■取組の実績・成果

【被災地支援実績・成果】

2023年7月の大雨災害時には、350kgのレギュラーコーヒーを県内6カ所の社会福祉協議会を通じて各地のボランティアセンターや必要な先に配布した。

また、2024年7月には200kgのレギュラーコーヒーを県内3カ所、山形県1カ所の社会福祉協議会を通じて各地のボランティアセンターや必要な先に配布し、被災地支援用コーヒーの提供により自社の食品ロスの削減にもつなげた。

【「SUNSHINE COFFEE PROJECT」によるレッドカップキャンペーン実績・成果】

2024年7月現在の県内の賛同企業数：5企業、2023年からの学校給食支援実績：約225食

今後の展望

今後も秋田県内及び近隣地域での災害発生時などには適切な先と連携して迅速な支援を行う。自社の食品ロスを活用して支援につなげる仕組みがより多くの企業に広がることで、無理のない自然な形での循環と活発な地域社会の形成が促進されるよう、取組を継続し広く発信していきたい。

「SUNSHINE COFFEE PROJECT」は県内では推進の余地が多い。取り組みを発信し賛同企業を増やし、1食でも多くの学校給食を秋田県から世界に届けられるよう活動していく。

このような地域連携から世界へと展開可能な貢献の輪を大きくつなげ、持続可能な世界への貢献を秋田発で行うことを今後も継続していく。